

二宮小学校だより



にのみや学園
二宮町立二宮小学校学校だより
令和5年度第3号(7/20発行)

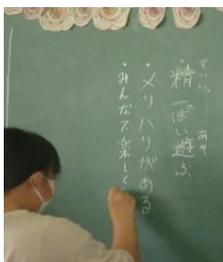
4月6日にスタートした1学期も、本日の終業式をもって終わりを迎えました。4月の始業式では、「こんなことができるようになりたい。」「こんなことをしたい。」、そのような「思い」をもって1年間生活してほしいことを子どもたちに伝えました。子どもたち一人ひとりの「思い」が実を結びつつあればうれしいです。そして、夏休みもその「思い」を大切にしながら生活してほしいと思います。

保護者の皆さま、今学期も、本校の教育活動にご理解、ご協力いただきましたこと、誠にありがとうございました。そして、地域の皆さま、子どもたちの登下校の見守り、教育活動へのご協力や学習環境の整備等、様々な場面で支えていただいたことに感謝申し上げます。

～第1回「にのプロジェクト」が開かれました～

6月23日(金)の昼休みから掃除の時間にかけて、今年最初の「にのプロジェクト」が開かれました。「にのプロジェクト」は、「二小なかよしプロジェクト」が正式名称で、1年生から6年生までが1つの班となり(1班13名～14名)、異学年で交流する活動のことで、この交流を通して、互いに協力して学校生活を楽しく豊かにしていこうとする態度を身につける、また、学級や学年をこえた連帯感を養うことをねらいとしています。

この「にのプロジェクト」は、年間4回の活動が予定されています。第1回は、まず班のめあてをみんなで作りました。「協力して仲良く楽しくできるにのプロジェクトにしよう」「ピンチのときは助け合って楽しい班にしよう」「みんな笑顔で明るい班にしよう」など各班それぞれです。その後、しりとり、フルーツバスケット、ハンカチ落とし、絵しりとりなどのゲームをして、班のみんなで交流を深めました。



今回は顔合わせの会でしたが、リーダーの6年生が上手にリードし、どの班もふさわしいめあてを決め、楽しく活動することができたようです。

この「にのプロジェクト」で得られた協力する心や仲間意識がベースとなり、11月の「にのっこウォークラリー」、そして3月の「ありがとう6年生集会」へとつながっていきます。

～5年目を迎えたコミュニティ・スクール～

コミュニティ・スクールは、学校運営協議会を設置した学校のこと、保護者や地域の方が学校とともに知恵を出し合い、学校運営に意見を反映させることで、協働しながら子どもたちの豊かな成長を支え、「地域とともにある学校づくり」を進める仕組みです。二宮小学校がコミュニティ・スクールとなってから今年で5年目を迎えます。

本校の学校運営協議会の委員は、地域の方(8名)や保護者代表(3名)、学校代表(校長、教頭、教務主任、事務)の全15名です。全委員による協議会が年間5回計画されているとともに、それぞれの委員が「校外安全部会」「学びふれあい部会」「環境整備部会」「その他部会」の4部会に分かれて活動をしています。

これまで、4月、5月、7月に協議会を持ちました。この3回の協議会では、学校運営の基本方針や学校予算などについての協議と承認、4部会の活動内容の報告と協議、創立150周年記念事業の経過報告などが行われました。

この学校運営協議会は、本校の運営や教育について学校とビジョンを共有し、支援してくださる強い味方です。これからも学校運営協議会の皆さんと知恵を出し合い、より良い学校運営を目指していきたいと思っています。



花壇を畑に替える準備をしてくださいました。



放課後子ども教室にもご協力いただいています。



大掃除でもご協力いただき、窓ふきを中心に行っていただきました。また、この日は多くの保護者の方にもご協力いただきました。

創立 150 周年を飾る横断幕

これまでご紹介しているように、本校は今年度、創立 150 周年を迎えます。現在、その 150 周年を飾る4つの横断幕の製作が進んでいます。

この横断幕ですが、昨年度の6年生がクラスごとに、創立 150 周年をテーマとしたキャッチフレーズを1つ、二宮町をテーマとしたキャッチフレーズを1つ考えました。

今年度に入ってから、各クラスが考えた2つのキャッチフレーズのうちのどちらを横断幕にするかを選びました。どちらもすばらしく、大変難しかったのですが、150 周年のテーマ「学校や町の『むかし（歴史）』から学び、『いま（現在）』の自分を見つめ、『これから（未来）』の学校・町・自分に思いをはせる。」に照らし選びました。

その結果、以下の3つに決まりました。

- ・「二小は 歴史が長く 百五十 これから始まる 新たな歴史」（1組 テーマ「150 周年」）
 - ・「二小の シンボルとなる いちょうの木 自然に囲まれ ゆたかな地域」（2組 テーマ「二宮町」）
 - ・「昔から 続く伝統 引き継がれ 笑顔あふれる みんなの母校」（3組 テーマ「150 周年」）
- もう1つ、教職員と学校運営協議会委員が考えたキャッチフレーズも紹介します。
- ・「二宮小学校 150 年 -歴史に学び 未来へはばたこう-」

そして、今年の6年生が4つの横断幕のデザインを考えました。

二宮小学校を代表するいちょうの木や葉がデザインされたもの、二宮町を代表する菜の花がデザインされたもの、また校章や校舎がデザインされたものなど、どれもすてきな作品となっています。

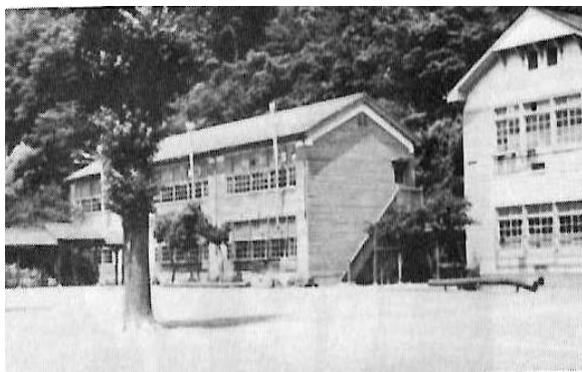
できあがった横断幕は、2学期の始業式で全校児童にお披露目する予定です。

創立 150 周年に寄せて

●現在の校舎

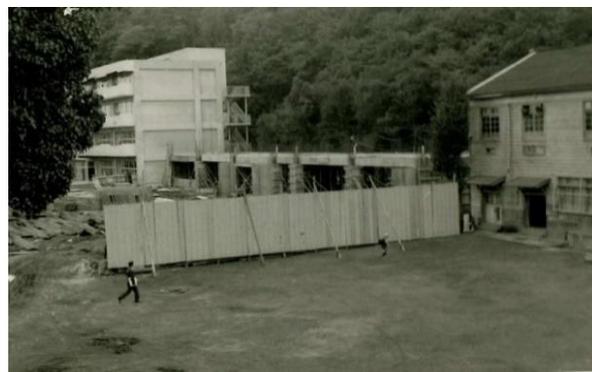
現在の校舎の建築は、1970年（昭和45年）7月から3期に分けて行われ、完成は1973年（昭和48年）3月でした。

第1期の工事（1970年7月～1971年3月）で、校舎西側（現在の2階にあてはめると、第2音楽室からくすのき1組まで）が完成、第2期の工事（1971年7月～1972年3月）で、校舎中央（現在の2階にあてはめると、1年3組から放送室まで）が完成、そして第3期の工事（1972年7月～1973年3月）で、校舎東側（現在の2階にあてはめると、2年4組からそにっく・なのはな級まで）が完成しました。したがって、現在の校舎は、完成後、50年から52年が経過していることになります。



木造の旧校舎

校庭の真ん中にあるイチョウの木が見えます。



工事中の現在の校舎

第2期工事の最中です。校舎西側は完成していることがわかります。